

水稲用**初期**除草剤

ホクコー

1キロ粒剤：農林水産省登録 第23008号

フロアブル：農林水産省登録 第23009号

ジャンボ：農林水産省登録 第23822号



メテオ[®]

1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ

1成分で雑草対策できる初期除草剤

1 ノビエ、ホタルイ、コナギ等に高い効果!

2 田植同時処理が可能! *1

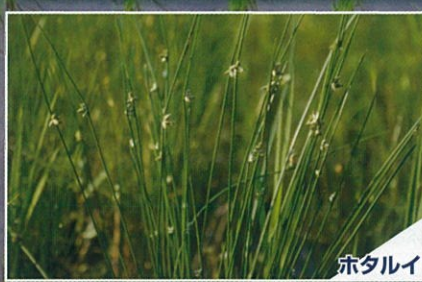
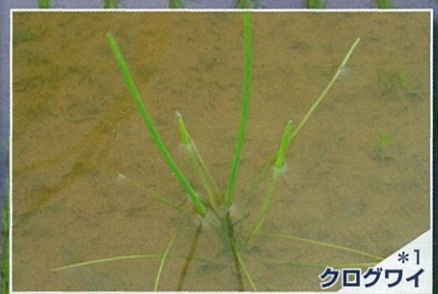
3 雑草イネに有効! *2

4 移植直後処理でも使えます!

5 水口施用が可能!
(フロアブル・ジャンボ)



主要な水田雑草を
しっかり抑えます!



*1：1キロ粒剤、フロアブル
*2：(公財)日本植物調節剤研究協会HP技術情報に雑草イネに有効な除草剤として記載されています。

水稲用初期除草剤

農林水産省登録 有効成分

ホクコー



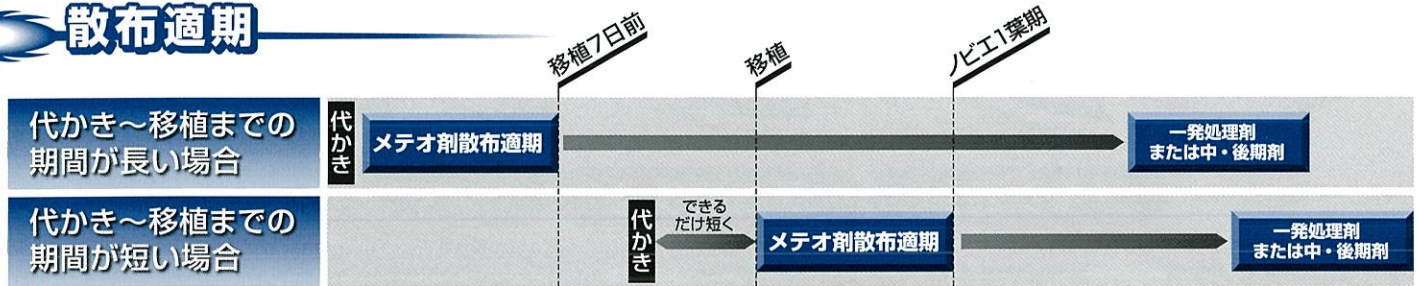
1キロ粒剤 第23008号 ペントキサゾン 2.5%

フロアブル 第23009号 ペントキサゾン 5.0%

ジャンボ 第23822号 ペントキサゾン 8.3%

1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ

散布適期



- 水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm、ただしジャンボ剤は5～6cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないでください。
- 散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。
- 散布後は、雑草の種類や発生状況にあわせて一発処理剤または中・後期剤を散布してください。
- 地域により雑草の種類や発生状況が異なりますので、地域の指導にしたがって使用してください。

適用雑草の範囲および使用方法

	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
1キロ粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ クログワイ	移植時	1kg/10a	2回以内	田植同時散布機で施用	2回以内
			植代後～移植前7日 又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布	
フロアブル	移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ クログワイ	移植時	500ml/10a	2回以内	田植同時散布機で施用	2回以内
			植代後～移植前7日 又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布 又は 水口施用	
ジャンボ	移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	植代後～移植前7日 又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(300g) /10a	1回	水口施用 又は 水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる	

使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください(フロアブル)。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイは発生前から発生始期まで、クログワイ(1キロ粒剤・フロアブル)は発生前までが本剤の散布適期です。
- クログワイは発生の期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。(1キロ粒剤・フロアブル)
- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはいないに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にいらない行ってください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用をさけてください(ジャンボ)。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意してください(ジャンボ)。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm、ただしジャンボ剤は5～6cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにしてください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水戻りを止めて通常の水深になるまで静かに水を入れて水口を閉じてください。
- ジャンボを水口施用する場合は、水口付近の水深を2～3cm程度に湛水した状態で入水時に本剤を小包装(パック)のまま水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ施用後田面水が通常の湛水状態(湛水深5～6cm)に達した時に必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- フロアブルを水口施用する場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 苗が水没するような深水状態では、褐変症状等の薬害が出るおそれがあるので、水管理に注意してください。
- 軟弱徒長苗を移植した水田、極端な浅植えや深植えをした水田、砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 本剤処理後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●使用後の空袋・空容器は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

この印刷物の記載内容は2022年7月末日現在の登録内容に基づいたものです。